

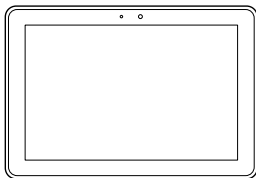
402HW

クイックスタート

お買い上げ品の確認

このたびは、「402HW」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご迷惑をおかけいたします。

402HW本体



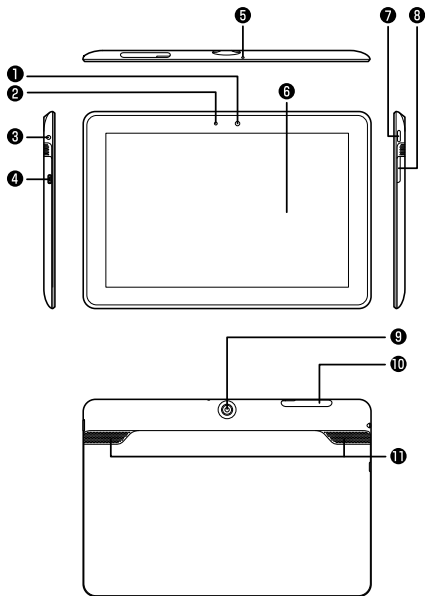
クイックスタート(本書)



保証書(本体)

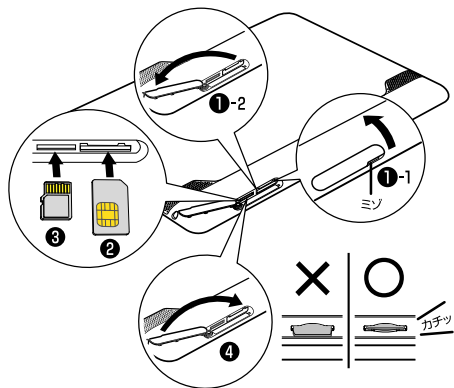


各部の名称と機能



- ① **フロントカメラ**
 - 自分の顔などの撮影を行います。
- ② **明るさセンサー**
 - 周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- ③ **3.5mm イヤホン端子**
 - イヤホンを接続します。
- ④ **外部接続端子**
 - microUSB ケーブルを接続します。
- ⑤ **マイク**
- ⑥ **ディスプレイ (タッチパネル)**
 - 指で直接触れて操作することができます。
- ⑦ **電源キー**
 - ディスプレイを消灯/点灯します。
 - 長押しで電源入/切を行います。
- ⑧ **音量大/小キー**
 - 音量を調節します。
- ⑨ **リアカメラ**
 - 静止画や動画の撮影を行います。
- ⑩ **カードスロット/カードスロットカバー**
 - microSD カード/USIM カードを取り付けます。
- ⑪ **スピーカー**
 - 着信音や再生中の音楽などが流れます。

USIMとmicroSDカードの取り付け



1. カードスロットカバーのミソに指先をかけて開く。
2. USIM カードの金属端子面を上にして、カチッと音がするまでゆっくり差し込む。
3. microSD カード*の金属端子面を上にして、カチッと音がするまでゆっくり差し込む。
4. カードスロットカバーを閉じる。

※別途、購入が必要です。

USIMカードの取り扱いについて

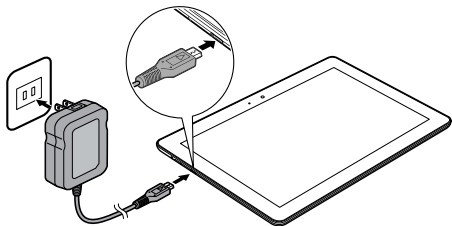
- 他社製品の IC カードリーダーなどに USIM カードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIM カードにラベルなどを貼り付けしないでください。故障の原因となります。
- USIM カードのお取り扱いについては、USIM カードに付属している説明書を参照してください。
- USIM カードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損による USIM カードの再発行は有償となります。
- 解約などの際は、当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいた USIM カードは、環境保全のためリサイクルされます。
- USIM カードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身で USIM カードに登録された情報内容は、控えをとっておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIM カードやソフトバンクの端末（USIM カード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、お問い合わせ先（→P.47）までご連絡ください。
- USIM カードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 本機は専用 USIM カードが必要です。本機の専用 USIM カードは携帯電話機で使用できません。

ACアダプタ（オプション品）で充電する

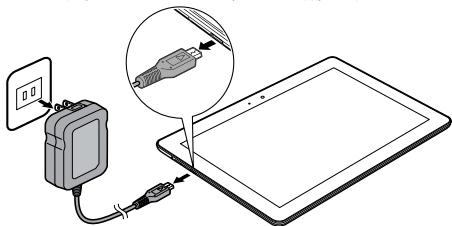
AC アダプタはオプション品です。必ずソフトバンク指定の AC アダプタ [ZTDAD1] をお使いください。

ここでは、AC アダプタ [ZTDAD1] を使用して充電する方法を例に説明します。

- お使いになる AC アダプタの取扱説明書を参照してください。
 - 本機または AC アダプタが濡れている状態では、microUSB プラグを絶対に接続しないでください。
1. AC アダプタ（オプション品）の microUSB プラグを本機の外部接続端子に接続し、電源プラグを家庭用 AC コンセントに差し込む。



2. 充電が完了したら AC アダプタ (オプション品) を外す。



充電状態はディスプレイで確認できます。

充電について

充電条件について

低温下での充電は、十分な性能が得られません。

AC アダプタ (オプション品) は周囲温度 5℃～35℃の範囲でご使用ください。

オプション品を使用してください

本機に対応している AC アダプタ (オプション品) を使用して充電してください。また、ケーブルを折り曲げたり、コネクタに力が加わらないようお取り扱いください。故障の原因となります。

本機や AC アダプタ (オプション品) の発熱について


充電中は本機や AC アダプタ (オプション品) などが温かくなる場合がありますが、故障ではありません。ただし、極端に熱くなる場合には異常の可能性があるので、その場合にはただちに使用を中止してください。

長時間ご利用時のご注意

本機を長時間ご利用になる場合や充電中など、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

充電中のディスプレイ表示について

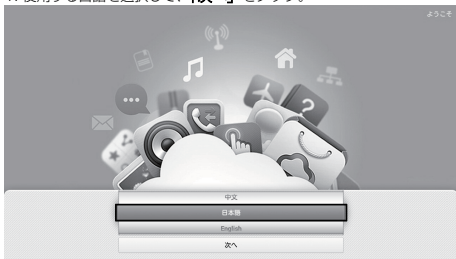
電源を切っている間でも、電源ボタンを押すとディスプレイが点灯してアニメーションが表示され、充電の状況が表示されます。充電が完了すると

が表示されます。

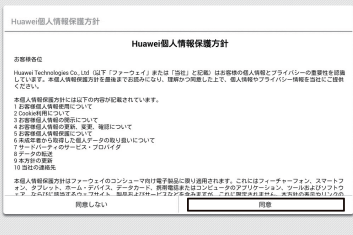
初期設定について

はじめて電源を入れたときは、初期設定ガイダンスが起動します。画面の指示に従って、各項目を設定してください。

1. 使用する言語を選択して、「次へ」をタップ。



2. HUAWEI 個人情報保護方針を確認し、「同意」を選択。



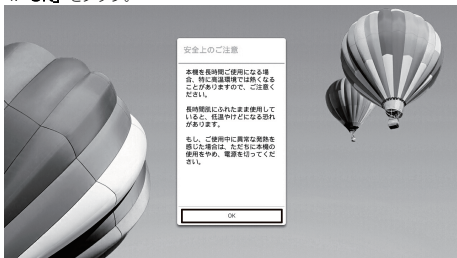
「同意しない」をタップすると、前の画面に戻ります。

3. 「開始」をタップ。



「スタートアップガイドの表示」をタップすると、基本操作のガイドが表示されます。

4. 「OK」をタップ。



ホーム画面が表示されます。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

必ずお守りください。

ご使用前に必ず「安全上のご注意」(→P.12)をお読みいただき、正しく安全にお使いください。



分解・改造しないでください。
火災・けが・感電などの原因となります。



濡らさないでください。
発熱・感電・故障などの原因となります。



外部接続端子に金属類などを接触させないでください。
ショートによる火災や故障などの原因となります。



指定品以外は使用しないでください。
発熱・発火・故障などの原因となります。



加熱しないでください。
発火・故障などの原因となります。






病院内での使用は指示に従い、適切に使用してください。
医療用電気機器に影響を及ぼす可能性があります。

安全上のご注意







ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを 抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、USIM カード、AC アダプタ (オプション品)

の取り扱いについて



危険

本機に使用する AC アダプタは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、AC アダプタの発熱・発火・故障などの原因となります。



指示

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



分解禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れたまま充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



水濡れ禁止

高温になる場所 (火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など) で充電・使用・放置しないでください。

また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所 (こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など) においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や内蔵電池の漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。



禁止

本機に AC アダプタをうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。microUSB プラグの向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。



禁止

内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

本機と AC アダプタを接続した状態で、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。



禁止

端子が破損した状態で充電すると故障や火災の原因となります。充電するときは、使用場所、取り扱いにご注意ください。



警告

本機・AC アダプタを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れてたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。



禁止

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・AC アダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源を切ってください。また、充電もしないでください。



指示

ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。



禁止

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。



指示

1. コンセントから AC アダプタを持ってプラグを抜いてください。また、高温になっている可能性があるためやけどに注意して、本機を取り外してください。

2. やけどやけがに注意して、本機の電源を切ってください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

外部接続端子やイヤホン端子に液体（水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など）や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。



禁止

ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。



注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。



禁止

落下して、けがや故障などの原因となります。充電中は、特にご注意ください。また充電中の落下は端子の破損の原因となります。

本機を AC アダプタから取り外す際は、コードを引っ張らず、AC アダプタのコネクタを持って取り外してください。



禁止

コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。



指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。



指示

けがなどの原因となります。

内蔵電池の取り扱いについて



危険

電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。

内蔵電池を漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。

内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

内蔵電池内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。

失明などの原因となります。



指示



警告

内蔵電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

本機の使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して火気から遠ざけてください。



指示

異常な状態のまま使用すると、内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

ペットが本機に噛みつかないようにご注意ください。また、ペットが噛みついた本機は使用しないでください。



指示

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。



注意

不要になった本機を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。



禁止

電池を内蔵していますので、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。適切に処理いたします。

本機の取り扱いについて



警告

本機のディスプレイ部には強化ガラスを使用していますが、落下などによる衝撃や無理な力は加えないでください。



禁止

ディスプレイが破損し、ガラスが鋭利な破片となつて、激しく飛散する恐れがあります。万一、破損した場合は、破片や破損部分に直接手を触れないようご注意ください。けがの原因となります。

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。



禁止

交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら端末を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。

運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。



指示

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

航空機内では航空会社の指示に従い適切にご使用ください。



指示

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。



指示

充電中は、本機を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。
熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。



禁止



注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。



禁止

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。(使用材料：→P.45)。



指示

本機に磁気カードなどを近づけないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



禁止

本機を長時間ご使用になる場合、高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)、また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)では熱くなることがありますので、ご注意ください。



指示

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

充電しながら端末やアプリケーション（ゲームなど）を長時間使用すると、本機や AC アダプタの温度が高くなる場合がありますので、温度の高い部分に長時間触れないでください。



指示

低温やけどなどの原因となります。

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。



指示

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

ACアダプタ（オプション品）の取り扱いについて



警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。



禁止

熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。



禁止

● ACアダプタ（オプション品）：

AC100V～240V（家庭用 AC コンセント専用）

また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

使用しない場合は、ACアダプタを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを挿したまま放置し、ACアダプタのプラグに異物や液体が付着したり、ACアダプタのプラグを踏みつけたりすると、感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持って、コンセントからプラグを抜いてください。



電源プラグを抜く

感電・発煙・火災の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。

火災の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタのプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電やショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。



指示

濡れた手でACアダプタのプラグや端子を抜き差ししないでください。

感電や故障などの原因となります。



濡れ手禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止



注意

お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



指示

ACアダプタをテーブルタップに接続しているときは、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。

火災や故障の原因となります。



指示

AC アダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。けがや故障の原因となります。



禁止

プラグに手や指など身体の一部が触れないようにしてください。やけど・感電・傷害・故障の原因となります。



禁止

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会〔平成26年8月〕）および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」（総務省）の内容を参考にしたものです。



警告

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。



指示

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。



指示

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態（例：機内モード）に切り替えるか、または本機の電源を切ってください。電源が自動的に入るアプリケーションをインストールしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。



指示

電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。



指示

- 医療機関内での携帯電話の使用においては、各医療機関からの指示に従ってください。
- 手術室、集中治療室(ICU)などでは、本機の電源を必ず切ってください。
- 病室・ロビーなど使用を許可されたエリアでも、近くに医用電気機器がある場合は、必要な離隔距離を確保してください。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 本機は電波を使用しているため、サービスエリア内であっても、屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

- 事故／故障などにより本機または microSD カードなどに登録したデータが消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。登録したデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機を公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、画面が乱れるなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 本機で画面ロック解除用のパターン／PIN／パスワードを設定した場合は、お忘れにならないようご注意ください。お忘れになった場合は、最寄りのソフトバンクショップにて所定の手続きが必要となります。その際、お客様が登録／設定した内容が消失しますのでご了承ください。
- 本機では、Google が提供する「Google Play™」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客さまご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容（品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など）およびそれに起因するすべての不具合（ウイルスなど）につきまして、当社は一切の保証を致しかねます。

お取り扱いについて

- 本機は防水仕様にはなっていません。水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。
 - － 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
 - － エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。

- 洗面所などでは衣服に入れないでください。落としたり、水で濡らしたりする場合があります。
- 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
- 汗をかいた手で触ったりしないでください。手の汗が本機内部に浸透し、故障の原因となる場合があります。
- 本機を電池残量の少ない状態で放置すると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は温度：0℃～35℃、湿度：10%～80%の範囲でご使用ください。極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを硬いものでこすったり、傷つけないようにご注意ください。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
 - 荷物の詰まったバッグの中などに入れるときは、重いものの下にならないようにご注意ください。
- 本機の銘板シールを、はがさないでください。修理をお受けできないことがあります。

- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイや本機に強い力を加えたとき、ディスプレイの一部が一瞬黒ずむことがあります。故障ではありません。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、イヤホンマイクやイヤホンの音量を上げないでください。周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。
- USIM カード／microSD カードの取り付け／取り外しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください。
- 本機が停止したり、入力を受け付けなくなったり、フリーズしたりする場合、電源キーを 13 秒以上押し、強制的に再起動することができます。

カメラについて

- カメラに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- 大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条令（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
- 販売されている書籍類や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

緊急速報メールについて

- お買い上げ時、受信設定は「有効」に設定されています。
- 受信時には、サイレントモードであっても警告音が鳴動します。
- 通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。

- 受信設定を「有効」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

Bluetooth®/Wi-Fi（無線LAN）機能について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
 - 本機は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - － 本機を分解/改造すること
 - 本機はすべての Bluetooth®/Wi-Fi 対応機器との接続/動作を保証するものではありません。
 - Bluetooth®/Wi-Fi 機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth®/Wi-Fi の標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境や設定内容などによってはセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth®/Wi-Fi 機能で通信を行う際はご注意ください。
 - Bluetooth®/Wi-Fi 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本機の Bluetooth®/Wi-Fi 機能の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. Bluetooth®/Wi-Fi 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、Bluetooth®/Wi-Fi 機能の使用にあたり、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合に

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の Wi-Fi アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

Bluetooth®と Wi-Fi 機器との電波干渉について

Bluetooth®と Wi-Fi (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、Wi-Fi のアクセスポイントや対応機器の近くで Bluetooth®を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能の原因になる場合があります。この場合、本機および Bluetooth®接続する対応機器を離れた場所でお使いいただくか、または Wi-Fi 対応機器の電源を切るなど、電波干渉による障害を防ぐようにしてください。

著作権などについて

映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本機を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

また、本機にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

商標・その他

- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.は、これら商標を使用する許可を受けています。
- LTE は ETSI の登録商標です。
- SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- S!メールはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Chrome」、「Chrome」ロゴ、「Google+」、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google トーク」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。その他会社名および製品名、関連する会社の商標である場合があります。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標または商標です。
- 「FSKAREN」は、富士ソフト株式会社の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品の比吸収率（SAR）について

この製品【402HW】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、この通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この製品を次に記述する所定の使用法^{*3}で使用した場合のSARの最大値は0.3545W/kg^{*2}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この製品を人体の近くでご使用になる場合^{*3}

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から1.5センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）に規定されています。

※2 この値は同時送信の値です。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

● 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

電波ばく露の影響に関する情報として、**欧州における基準および米国連邦通信委員会 (FCC) の基準**を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この製品【402HW】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

この製品から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は 2W/kgで、本書に記述する所定の方法 (※3) で使用したSARの最高値は 0.724 W/kgです。

「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6 W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って**人体の近くでご使用になる場合は 1.098 W/kg**です。

人体の近くでご使用になる場合：この製品【402HW】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から 0 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露

要件を満たすためには、身体から0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）

<http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/>

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関（英文のみ）

<http://www.who.int/emf>

SoftBankスマートフォン 各機種の電波比吸収率（SAR）一覧はこちら

<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

This product [402HW] meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves .

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this product is 0.3545W/kg*** when used close to the body in the below manner**** .

While there may be differences between the SAR levels of various products and at various positions, all products meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the product during operation can be well below the maximum value.

Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan) 37

Use close to the body****

To use this product close to the body, maintain a separation of 1.5cm with no metal (parts) between it and the body. This will ensure this product meets the Japanese technical regulations for exposure and international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<http://www.arib-emf.org/index02.html> (Japanese)

This product [402HW] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide**** In this case, the highest tested SAR value is 0.724 W/kg*.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include

a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use worn on the body in a holder or carry case, is 1.098 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID QISS10-231L.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on FCC Radio Frequency Safety website at <http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/>.

40 Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

World Health Organization

<http://www.who.int/emf>

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model

<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/> (Japanese)

暗証番号について

本機のご利用にあたっては、交換機用暗証番号が必要になります。ご契約時の4桁の暗証番号で、インターネットの有料情報申し込みに必要な番号です。

- 交換機用暗証番号はお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（→P.47）までご連絡ください。
- 交換機用暗証番号は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

技術基準適合情報について

技術基準適合情報を表示できます。

技適マークは「設定」→「タブレット情報」→「認証情報」で確認できます。

PINコードについて

PINコードとは、USIMカードの4～8桁の暗証番号です。第三者による本機の無断使用を防ぐために使用します。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

PINコードを有効にする

ホーム画面で「設定」→「セキュリティ」→「SIMカードロック設定」→「SIMカードをロック」→PINコードを入力→「OK」

PINコードを変更する

ホーム画面で「設定」→「セキュリティ」→「SIMカードロック設定」→「SIM PINの変更」→現在のPINコードを入力→「OK」→新しいPINコードを入力→「OK」→新しいPINコードを再度入力→「OK」

- PINコードの変更は、PINコードを有効にしている場合のみ行えます。

PIN ロック解除コード (PUK コード) について

PINコードの入力を3回続けて間違えると、PINロック状態になります。その際は、PINロック解除コード (PUKコード) が必要となります。

- PIN ロック解除コードについては、お問い合わせ先 (→P.47) までご連絡ください。
- PIN ロック解除コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようにご注意ください。
- PIN ロック解除コードを10回間違えて入力すると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。その際には、ソフトバンクショップにてUSIMカードの再発行 (有償) が必要となります。


ソフトウェアの更新

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

- 本機は、ソフトウェアのアップデートや、サーバーとの接続を維持する通信など一部自動的に通信を行う仕様となっております。
- ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。更新が完了するまで、本機は使用できません。
- ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないときはソフトウェアを更新できません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- ソフトウェア更新中は、他の機能は操作できません。
- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします (一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合もあります)。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況 (故障など) により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェア更新中は絶対に USIM カードを取り外したり、電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお問い合わせ先（→P.47）までご連絡ください。
- ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、電源キーを 13 秒以上押すと、強制的に再起動することができます。それでも起動しないときは、ご契約のソフトバンクの故障受付（→P.47）にご相談ください。

ソフトウェアを更新する

サーバーに新しいソフトウェアがある場合は、通知パネルに  が表示されます。

1. 通知パネルを開く→「ソフトウェア更新」
2. 画面の指示に従って、ダウンロードが完了したら→「今すぐ更新」→「はい」

手動でソフトウェアを確認／更新する

ホーム画面で「設定」→「タブレット情報」→「システムアップデート」→「ソフトウェア更新」→「はい」

ソフトウェアバージョンのチェックが開始されます。

- ソフトウェアが最新の場合
ソフトウェアが最新版である旨のメッセージが表示されます。そのままお使いください。
- ソフトウェアが最新ではない場合
 1. 「今すぐダウンロード」
 2. 画面の指示に従って、ダウンロードが完了したら→「今すぐ更新」→「はい」

使用材料

402HW本体	
使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ／前面部	ガラス
外装ケース（前面枠部分）	PC・10%GF
外装ケース（裏面上部）	PC
外装ケース（裏面下部）	Al、サンドブラスト・アルマイト処理
電源キー、音量大／小キー	PC・TPU、UV塗装
カードスロットカバー	PC・TPU
カードスロット	ステンレススチール・ニッケルメッキ、銅合金・金メッキ、銅合金・錫メッキ
3.5mmイヤホン端子	LCP、PPS、銅合金・金メッキ
外部接続端子	ステンレススチール・錫メッキ、銅合金・金メッキ
リアカメラレンズ	ガラス

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（連絡先／音楽／静止画／動画など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先（→P.47）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。
- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（→P.47）までご連絡ください。

取扱説明書について

本書の最新版は、ソフトバンクモバイルホームページからダウンロードできます。<http://mb.softbank.jp/biz/r/support/402hw>

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内

ソフトバンク携帯電話から 157 (無料)

一般電話から ☎ 0800-919-0157 (無料)

紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から 113 (無料)

一般電話から ☎ 0800-919-0113 (無料)

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380 (有料)
東海地域	052-388-2002 (有料)
関西地域	06-7669-0180 (有料)
中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010 (有料)

スマートフォン テクニカルサポートセンター

端末の操作案内はこちら

ソフトバンク携帯電話から 151 (無料)

一般電話から ☎ 0800-1700-151 (無料)

ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡

+81-92-687-0025

(有料、ソフトバンク携帯電話からは無料)

THIS DOCUMENT IS FOR INFORMATION PURPOSE ONLY, AND
DOES NOT CONSTITUTE ANY KIND OF WARRANTIES.

2014年12月第2版発行ソフトバンクモバイル株式会社
製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.